

ツルツルのタイヤ



一般の車は、雨の日に滑ることのないよう、水はけをよくするための溝がついたタイヤを使用していますが、ソーラーカーのタイヤは溝がなくツルツルです。

「ドルフィン」と「ホワイトドルフィン」には、雨の日の水はけよりも空気抵抗を減らすことを考えて、溝のないタイヤが使われています。太さも幅約8cmと細く、バイクよりも細くて、自転車よりは少し太い程度です。これは転がり抵抗を小さくして、速く走るための工夫です。

そして今回使用されているものは、タイヤ男ビバンダム（通称ビブ）で有名な、世界最大級のタイヤメーカーミシュランから、60本の特別提供を受けています。ソーラーカーは、パンクすることが非常に多いため、いつもスペアタイヤを大量に用意しなくてはなりません。そこでこの60本に買い足す形で準備を整えています。